

DIAPER COVER

Patent Number: JP2003199778

Publication date: 2003-07-15

Inventor(s): MATSUMOTO YUKIO

Applicant(s): MATSUMOTO NURSE SANGYO KK

Requested Patent: JP2003199778

Application Number: JP20010401842 20011228

Priority Number(s):

IPC Classification: A61F5/44; A61F13/74

EC Classification:

Equivalents:

Abstract

PROBLEM TO BE SOLVED: To solve the problems on a large-sized urine taking pad used to cover from the abdomen to the back because the urine quantity of an adult per time is large and a care required person is usually bedridden, but it is inconvenient to put the large-sized urine taking pad in and out of a storage bag due to the narrow opening of the diaper cover and there is a possibility of causing a urine leakage without exact fitting besides a bad feeling of wearing due to the occurrence of twist and dislocation of the urine taking pad inside the storage bag.

SOLUTION: An outer material with waterproofness, and an inner material with the other water absorptive material sewn to the center part of a water permeable material, are sewn leaving both crotch parts as opening parts and forming the vicinity of the leg root on the abdomen side as a sewing stop. A space between the outer material and inner material communicating with the opening part is made a urine taking pad storage pocket. Both crotch parts of the outer material are provided with dams formed of waterproof cloth, and the outer edge of the dam contracted by sewing with stretch thread to form three-dimensional structure.

Data supplied from the **esp@cenet** database - I2

(19)日本国特許庁 (JP)

(12) 公開特許公報 (A)

(11)特許出願公開番号

特開2003-199778

(P2003-199778A)

(43)公開日 平成15年7月15日 (2003.7.15)

(51)Int.Cl.
A 61 F 5/44
13/74

識別記号

F I
A 61 F 5/44
A 41 B 13/08

マーク (参考)
T 3 B 0 2 9
G 4 C 0 9 8

審査請求 有 請求項の数 2 OL (全 5 頁)

(21)出願番号 特願2001-401842(P2001-401842)

(22)出願日 平成13年12月28日 (2001.12.28)

(71)出願人 500294800

松本ナース産業株式会社
大阪府交野市私部西4-6-1

(72)発明者 松本 行生

大阪府交野市私部西4-6-1

(74)代理人 100073689

弁理士 築山 正由

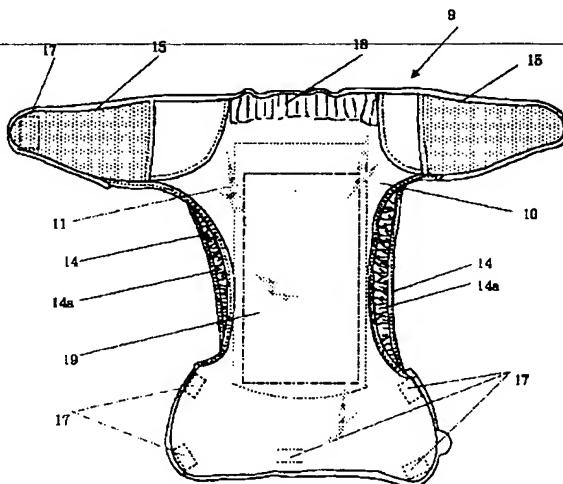
F ターム (参考) 3B029 CAD4 CB05 CB08 CC01
40098 AA09 CC12 CC15 CB07 DD02
DD03 DD06 DD22 DD23

(54)【発明の名称】 おむつカバー

(57)【要約】

【課題】 成人の一回の尿量は多く、又、要介護者は通常寝たきりであるため下腹部から背中迄カバーするよう大型の尿取りパッドが使用される。ところが、おむつカバーの開口部が狭く、収納袋への大型の尿取りパッドの出し入れが不便であり、又、収納袋の中で尿取りパッドの振れや、ズレを生じて着用感が悪いだけでなく、局部に、ぴったりとフィットせず尿漏れを起こす恐れがある。

【解決手段】 防水性を有する外生地と、透水性を有する生地の中央部に、吸水性を有する他の生地を縫い付けた内生地とを、両股ぐりを開口部として残すと共に腹側の足の付け根付近を縫い止まりとして縫合し、開口部と連通する外生地と内生地との空間を尿取りパッド収納ポケットとし、外生地の両股ぐりに防水布でダムを設け、当該ダムの外縁を伸縮糸で縫い締めて立体構造にした



【特許請求の範囲】

【請求項1】防水性を有する外生地と、透水性を有する生地の中央部に、吸水性を有する他の生地を縫い付けた内生地とを、両股ぐりを開口部として残すと共に腹側の足の付け根付近を縫い止まりとして縫合し、開口部と連通する外生地と内生地との空間を尿取りパッド収納ポケットとし、外生地の両股ぐりに防水布でダムを設け、当該ダムの外縁を伸縮糸で縫い縮めて立体構造にしたことを特徴とするおむつカバー。

【請求項2】防水性を有する外生地と、透水性を有する生地の中央部に、吸水性を有する他の生地を縫い付けた内生地を、腹側の一端縁又は腹側の端縁と腰側の両端縁を縫い止まりとして縫合し、形成される開口部と連通する外生地と内生地との空間を尿取りパッド収納ポケットとした請求項1記載のおむつカバー。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】本発明は尿取りパッド収納ポケットを設けた成人用おむつカバーに関するものである。

【0002】

【従来の技術】おむつカバーに尿取りパッドを装着する方法として、おむつカバーに尿取りパッド収納箇所を設ける、又は取り尿パッドを挿入するポケットを形成する方法がある。

【0003】図1に示すおむつカバー1は、防水布と吸水布を二重に合わせ開口部3を残して縫合した後、おむつカバーの中央部を略コ字形に縫合して袋状にし、尿取りパッド収納箇所2を形成したものである。

【0004】図2に示すおむつカバー4は、防水布と吸水布を二重に合わせ縫合した後、別途設けた尿取りパッド収納ポケット2を内側の吸水布側に縫着し、尿取りパッド6の先端をポケット2に差し込んで固定し、使用するものである。

【0005】また、尿漏れを防ぐ、ダムと呼ばれる部分を有するおむつカバーがある。これ又、尿漏れを防ぐダムは、細長い防水布7を両股ぐりに縫合した後、当該ダム7の外縁8をゴム糸等の伸縮糸で縫い縮め、股ぐりに接する両足の付け根にフィットするようにしたものである。

【0006】

【発明が解決しようとする課題】成人の一回の尿量は多く、又、要介護者は通常寝たきりであるため下腹部から背中迄カバーするよう大型の尿取りパッドが使用されるところが、おむつカバー1は開口部3が狭く、収納袋への大型の尿取りパッドの出し入れが不便であり、又、収納袋の中で尿取りパッドの振れや、ズレを生じて着用感が悪いだけでなく、局部に、ひつたりとフィットせず尿漏れを起こす恐れがある。

【0007】又、おむつカバー4は収納ポケット2が浅

く尿取りパッドの交換は簡単である反面、大型の尿パッドを固定しづらく、ズレを生じ易い。

【0008】又、ダムを有するおむつカバーは尿漏れをいったん防止する効果はあるが、吸水性を有する内生地と縫い合わされているため、内生地や尿取りパッドに吸収された尿が徐々に浸潤し、長時間の使用により尿が伝い漏れする恐れがある。更に、一般に、おむつカバーは、生地を多層構造に縫合しているため、洗濯すると乾きにくいという難点がある。

【0009】そこで、本発明では尿取りパッド収納ポケットと共に開口部を広く形成して大型の尿取りパッドの出し入れを簡単にし、更に、内生地とダムとを縫合せずに尿の伝い漏れを防止すると共に通気性を良くして洗濯物の乾きを早くして介護者の負担の低減を図ることを目的とする。

【0010】

【課題を解決するための手段】防水性を有する外生地と、透水性を有する生地の中央部に、吸水性を有する他の生地を縫い付けた内生地とを、両股ぐりを開口部として残すと共に腹側の足の付け根付近を縫い止まりとして縫合し、開口部と連通する外生地と内生地との空間を尿取りパッド収納ポケットとし、外生地の両股ぐりに防水布でダムを設け、当該ダムの外縁を伸縮糸で縫い縮めて立体構造にした。

【0011】又、防水性を有する外生地と、透水性を有する生地の中央部に、吸水性を有する他の生地を縫い付けた内生地を、腹側の一端縁、又は腹側の端縁と腰側の両端縁を縫い止まりとして縫合し、形成される開口部と連通する外生地と内生地との空間を尿取りパッド収納ポケットとした。

【0012】

【発明の実施の形態】本発明の最良の実施形態について図面を参照しながら説明する。

【0013】図3は請求項1に係るおむつカバー9の内面図、図4が同、外面図、図5がおむつカバー9の内面を右側面から見た図である。

【0014】防水性を有する縦長臼形の外生地10と、中央部に縦長矩形の吸水布11を縫着した縦長臼形の透水性を有する内生地12を両股ぐりを開口部13として残して縫合する。次に外生地10の両股ぐりに細長い防水布14を縫着すると共に、外縁14aをゴム糸等の弾性糸で縫い縮めて立ち上がらせ、尿漏れ防止のダムを形成する。

【0015】更に防水布16を内側に、面状ファスナー(メス)15を外側に縫合した両翼を臀部側に縫着し、面状ファスナー(オス)17を片翼内側、更に腹部内側にも数箇所縫着する。

【0016】腰部分の内側にゴムテープ18を縫着して伸縮自在とし腰回りにフィットさせる。

【0017】尿取りパッド19は両股ぐりの開口部13

-13のどちらからでも出し入れが可能である。

【0018】図6は請求項2記載のおむつカバー21の内面図、図7は、同、外面図である。

【0019】防水性を有する縦長臼形の外生地20と、中央部に縦長矩形の吸水布21を縫合した内生地21の内側中央部に、更に縦長矩形の吸水布21を縫着した縦長臼着した縦長臼形の透水性を有する内生地22を両股ぐり23と腹部分29を開口部として残して縫合する。その際、腰部に横にゴムテープ24を中に挟み込んで縫着し伸縮自在として腰にフィットさせる。

【0020】次に外生地20の両股ぐりに細長い防水布25を縫着すると共に、外縁25aをゴム糸等の弾性糸で縫い縮めて立ち上がらせ、尿漏れ防止のダムを形成する。

【0021】更に、腹部外側に面状ファスナー(メス)26を縫着する。その際、腹部に横にゴムテープ24を挟み込み腹にフィットさせる。臀部両翼27-27の両端縁27a-27aに数本の面状ファスナー(オス)28の一端を縫い止める。尿取りパッド(図示せず)は両股の開口部23、腹部開口部29のいずれからも出し入れするのである。

【0022】又、図7の一点鎖線で示すように、腰部側に、前記内生地22を外生地20に開口部30を設けるようにして縫合し、開口部30からも尿取りパッドを出し入れするのである。

【0023】尚、ここにいう尿取りパッドとは、広義の概念であり、尿を吸収する素材、即ち、綿シート、ポリマーシート等を含むのである。

【0024】

【発明の効果】尿取りパッド収納箇所の開口部が広いため大型の尿取りパッドであっても出し入れがし易く交換作業の負担が軽くなる。

【0025】又、尿取りパッド収納ポケットの端部がフラップとなって尿取りパッドを覆うため尿取りパッドのズレや縫れを生じさせない。

【0026】内生地と外生地が両股ぐりを開口部として残して縫合されているため、当該左右の股ぐりから尿取りパッドの出し入れが可能となる。また、腰部側の、開口部からむし尿取りパッドを出し入れするするため、便の勝手が抜群に良いのである。更に開口部を多く且つ、幅広く設けているため通気性が良く、洗濯しても乾きが早い。

【0027】又、吸水性を有する内生地とダムとが縫合されていないため尿の伝い漏れを防止できる。

【図面の簡単な説明】

【図1】従来のおむつカバーの内面図。

【図2】他の従来のおむつカバーの内面図。

【図3】請求項1記載のおむつカバーの内面図。

【図4】請求項1記載のおむつカバーの外面図。

【図5】同、右側面図。

【図6】請求項2記載のおむつカバーの内面図。

【図7】同、外面図。

【符号の説明】

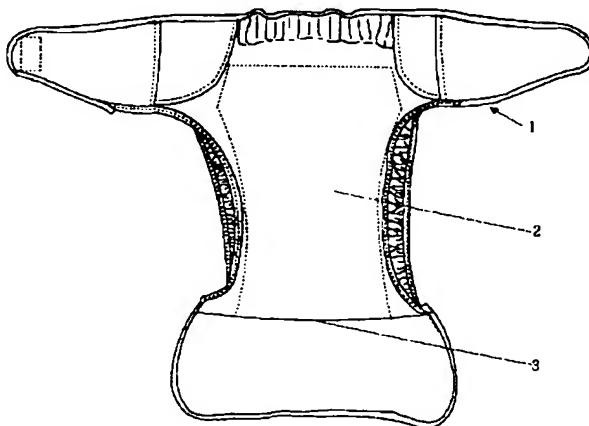
9、21、おむつカバー 10、20、防水布

13、22、透水布 11、21、吸水布

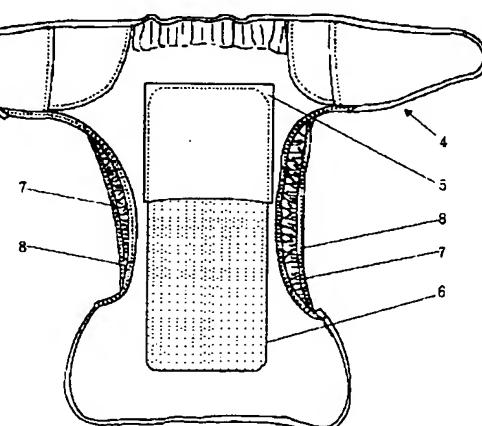
13、29、30、開口部

14、26、ダム 19、尿取りパッド

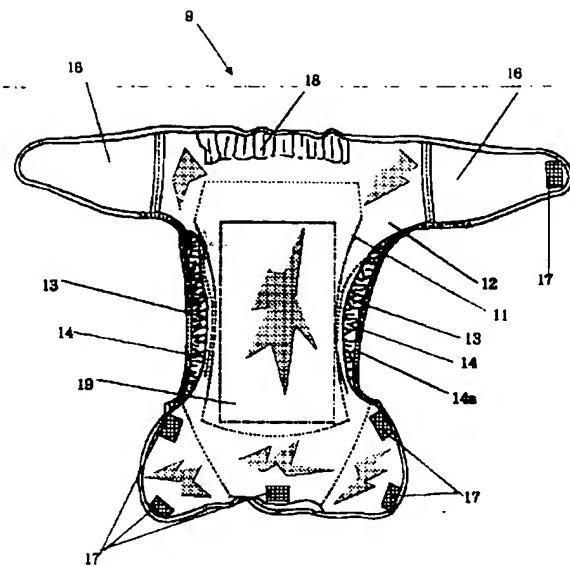
【図 1】



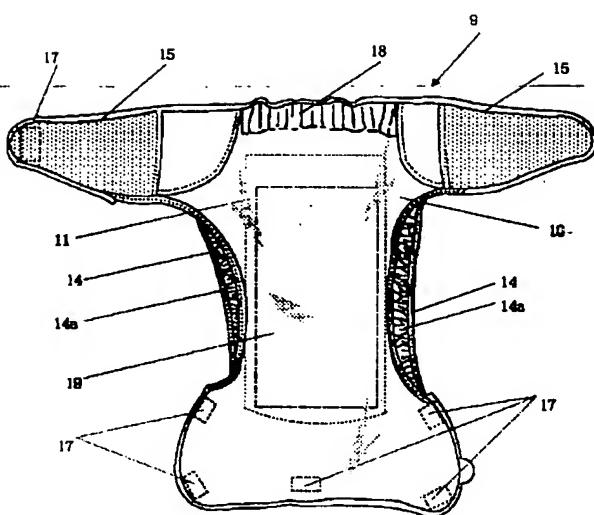
【図 2】



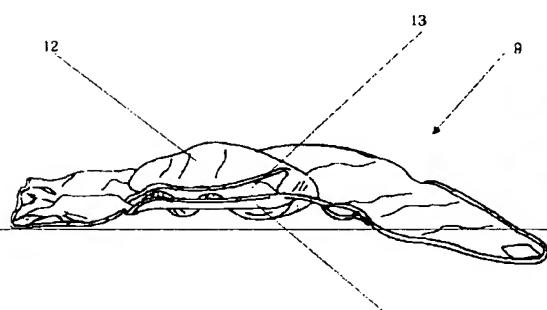
【図3】



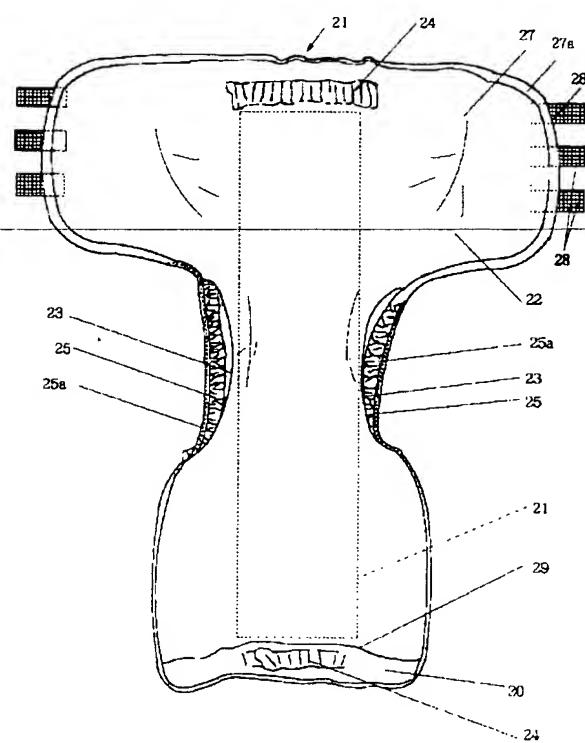
【図 4】



【図 5】



【図 6】



:(5) 003-199778 (12003-19058

【図 7】

